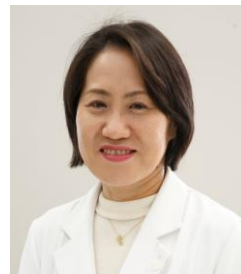


田中 マキ子 TANAKA Makiko

研究分野：看護学、保健医療社会学

キーワード：看護教育学、老年看護学、ポジショニング学



研究トピックス：

トータルケアのためのポジショニング —根拠に基づく実践への追求—

研究の要旨：

ポジショニングは、体位変換と同義と理解され、その検討課題は、「どのように行う」といった手技としての How to であり画一的な方法としての追求でした。また、呼吸のため、嚥下のため、褥瘡予防のためと、場面・状況別にポジショニングは扱われてきました。しかし、人それぞれ骨格が異なり、生活スタイルにも嗜好があるように、同一なものではありません。また、「病気になる」ということには、様々な苦痛が伴います。

そこで、一人の患者様が、病に伏すという観点から、楽に呼吸ができ、誤嚥にもならず、褥瘡もつくりず、何よりも安楽に生活できる技術としてポジショニングを高める必要があるととらえるようになりました。さらのこの技術が普及するためには、こうしなくてはならないという根拠が必要となるため、「トータルケアとしてのポジショニング」について研究しています。

現在本研究は、ケアとして・物品開発として・教育ツールの検討と、その幅が広がってきています。可視化・標準化が難しい技術の極みを、根拠から追及したいと考えています。



主な関連業績：

Tanaka M, et al. The mechanism of persistent undermining of a sacral pressure ulcer: The mechanism of persistent undermining of a sacral pressure ulcer: Experimental analyses using a deformable model and examination of skin mobility over different anatomical locations. *J Tissue Viability*;29(2):130-134,2020

田中マキ子他著「トータルケアをめざす 褥瘡予防のためのポジショニング」照林社 2018年

田中マキ子著「ガイドラインに基づくまるわかり褥瘡ケア」照林社 2016年

田中マキ子他編著「ポジショニング学」中山書店 2013年

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)